

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



令和元年6月18日(火)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

“勝負の厳しさ”を味わう大会となりました！

女子卓球部が団体・個人で県大会出場！福島県中学校体育大会県中地区予選大会終わる

6月12日(水)には福島県中学校体育大会県中地区予選大会が行われました。各競技とも激戦の連続で、勝負の厳しさを味わった部が多かったです。でも生徒達は部員全員で本当によく戦いました。そんな中、卓球部女子が団体第3位に輝き見事県大会出場を決めました。個人のシングルス、ダブルスでも同じく県大会出場となりました。

激戦の足跡

【サッカー】

遠藤愛斗、佐田玄騎、添田桔平、田中空樹、山口亜由夢、石木陸人、穴戸敦哉、長岡颯人、堀越悠輔
阿部凌真、磯貝拓斗、増子裕太、佐々木春登、橋本健市、渡邊航大、大河原琉、熊田空良、橋本龍ノ介
1回戦 VS須賀川一中 1-1 (PK 4-5) 惜敗

【ソフトテニス男子】

菅野柊羽、小池直輝、鈴木陸斗、笹川龍心、齊藤 翔、伊藤 隼、後藤純平、菅野悠翔

《団体》1回戦 VS三春中 1-2 惜敗

《個人》笹川・齊藤ペア 1回戦で惜敗、菅野・小池ペア 2回戦で惜敗

【ソフトテニス女子】

栗城叶望、熊田あおい、相良優結、橋本紗希、上野菜々瀬、青山梨聖、瀧澤帆花、鈴木愛菜

《団体》1回戦 VS西袋中 3-0 勝利、2回戦 VS船引中 1-2 惜敗

《個人》栗城・熊田ペア 1回戦で惜敗

【卓球女子】第3位 県大会出場

遠藤彩香、本田心華、青柳 葵、菊地美愛、武田花香、佐久間あかり、星野未那美、菅野明里

《団体》1回戦 VS須賀川三中 3-1 勝利、2回戦 VS高瀬中 3-1 勝利

準決勝 VS郡山二中 0-3 惜敗、代表決定戦 VS郡山七中 3-0 勝利

《個人》シングルス 遠藤彩香 **ベスト8 県大会出場**

ダブルス 菊地・佐久間組 **第3位 県大会出場**、武田・菅野組 1回戦惜敗

【剣道男子】

佐藤雅哉、桑折一颯、植田啓介、御代田瑛仁、影山慶次郎、金澤秀明、米内拓真

《団体》予選リーグ VSザベリオ中 0-3 惜敗、VS鏡石中 2-0 勝利

決勝トーナメント 1回戦 VS明健中 0-3 惜敗

《個人》佐藤雅哉 2回戦で惜敗

【剣道女子】

伊東 凜、今泉麗奈、佐久間夏蓮、保高佑美、堀金阿子、吉田怜禾

《団体》予選リーグ VS須賀川一中 1-0 勝利、VS安積中 0-3 惜敗

決勝トーナメント 1回戦 VS郡山一中 2-2 代表戦で惜敗

《個人》今泉麗奈 1回戦で惜敗

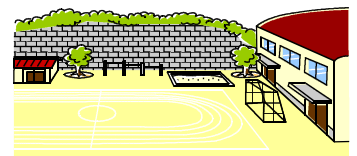


優勝した須賀川一中と最後の最後まで激闘を続けたサッカー部。県大会出場までもう一步の所まで戦い抜いた剣道部女子をはじめ、本当に最後まであきらめずに頑張りました。お疲れさまでした！

運動部を牽引した3年生に感謝します！次なるステージでの頑張りを...

女子卓球部と協会・連盟主催の大会に参加する一部の部を除き、5月末に行われた市総合大会、そして今回の県中地区大会をもって運動部を引退することになった3年生へ、各部をここまで牽引してくれたことに感謝します。君たちの2年数ヶ月に及ぶ部活動への取り組みは、やがて君たちの人生の大きな財産になると信じます。接戦をものでできなかった悔しさや上位大会に進めなかった悔しさは確かにあると思います。しかし、負けは負けとして、しっかりと受け止めること、そして、今までの練習や試合等で大切な何かを得ているはず。その大切な何かを自分自身のこれからに生かすことができれば、中学校時代の運動部を経験した証になるのではないのでしょうか。

大会に出て結果を残すことが部活動の目的ではありません。結果は通過点であってゴールではない。結果を出すためにどう取り組むのか、また出た結果をどう受け止めて明日に繋げていくのかということが大事なのです。運動部引退をむかえた3年生には、次のステージでの新たな目標の設定とその目標達成に向けた努力に動き出してほしいと思います。最後に、女子卓球部の健闘を心から祈っています。



今回の大会では目標の県大会出場を決められてよかったです。みんなの応援や先生方の熱い指導があったおかげだったと思います。団体メンバーの気持ちが一つになり、今までで一番勝ったときの感情がこみ上げてきました。個人戦では、ラリーが続いて「絶対勝つ！」という気持ちだけで勝てたのかなと思いました。技術面ではまだまだなので、県大会では残り少ない練習で手を抜かずに頑張っていきます。(遠藤彩香)

私が出た試合は優勝した二中の団体戦で、小さい頃から卓球をしている相手に対し、どこまでできるか、何を学んでこれるかテーマでした。その試合をしたことで、県大会に向けた課題を見つけることができたので、良い経験となりました。これからも東北大会に出場した一つ上の先輩方のことを脳裏におき、パワーにしながら練習を頑張っていきたいです。また、応援してくれている後輩や友達、家族などの気持ちを胸に、自分にできる最大限のことをしようと思います。(本田心華)

今回は本当にたくさんの人達に応援してもらいました。部長の遠藤が壮行会で言った「みんなの応援や期待に応えられるよう頑張ります」を有言実行できたのでよかったです。また、みんなが一人のための思い、一人がみんなのための思いプレーし、今まで以上に感動する試合をすることができました。富中卓球部は、「声・粘り強さ」ではどこにも負けたい自信があります。今回も1点をとるのに何分も(→)



卓球部女子団体メンバー 一人一人の思い

(→) ラリーする試合が多かったと思います。自分が出た試合すべて負けてしまい、チームのみんなにプレッシャーを与えてしまったりしました。でも誰かが負けても、誰かが取り返し勝つことができました。私は今回の大会で本当にみんなに感謝しなければなりません。なので県大会では1試合でも多く勝ち、誰かが負けても自分が勝って感謝されるように頑張ります。応援ありがとうございました。(青柳 葵)

私は県中大会を終えて、くやしかったことと嬉しかったことが入り混じった大会だったと思いました。特に団体戦は、高瀬のエースとの試合で3-1で勝ったことはとても嬉しく自信になりました。ですが、七中との試合では、みんなが苦しい戦いで、ほとんどの人がフルセットまで続く試合でした。私も3-2で勝つことができました。個人戦では、ペアの佐久間と最後まであきらめずに試合をすることができたのでよかったです。後輩や先生方、先輩、他校生、そして両親の応援があったからこそ、つかみとれた3位だと思いました。県大会では、負けたチームの思いとみなさんの応援を胸に一生懸命ボールを追いかけます！(菊地美愛)

県中大会では、今まで負け続けていた中学校にあたってしまい、「大丈夫かな」という気持ちがありました。それ以上に「絶対勝つ！」という気持ちがありました。団体の一人一人が同じ目標に向かって応援やプレー両面で本気で最後まで戦い抜きました。応援してくれた1・2年生、手厚い指導をくださった伊藤先生、鈴木先生、一緒に戦った団体メンバーでつかんだ勝利でした。県大会では、反省点を一ヶ月で改善し、良いコンディションで試合に臨みます。(武田花香)

県中大会では、最初からつらい試合が続きました。あせってしまったりしたけど、2年生や団体メンバー、保護者の応援があったから、最後まで冷静に戦うことができました。団体戦、個人戦ともに3位で県大会に出場できるので、富中のみんなを含め、応援してくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、そして期待に応えられるように全力でプレーしていきます。(佐久間あかり)

県中大会を終えてたくさんの方のことを学びました。試合中に緊張してミスなどをしてしまった時に、みんなの応援をきいて落ち着いて試合をすることができました。県大会では、県中大会で学んだことを生かして、一本でも長くラリーをし、納得のいく試合をしたいです。そして、応援してくださった先生方、保護者の方、チームのみんな、本当にありがとうございました。県大会でも頑張ります。(星野末那美)

県中大会は、「絶対に先輩と県大会に行く！」という気持ちで挑みました。県大会を決める代表決定戦では郡山七中と戦い、3-0で勝つことができました。諦めない強い気持ちが勝利の一本につながりました。県大会まで自分のプレーを改善し、富中生として自信を持ってプレーできるよう練習したいと思います。みんなの応援が力になりました。『精神一到』…頑張ります。(菅野明里)

保護者の皆様へ

今回の県中地区大会におきましても、多くの保護者の皆様に会場に足を運び温かい応援をいただきました。仕事の都合等で当日の応援ができなくても常日頃から生徒を励ましていただきました。保護者の方々の応援や励ましが、生徒にとって大きな力となりました。深く感謝申し上げます。特に引退となる3年生の保護者の皆様、本当に長きにわたるご支援・ご協力ありがとうございました。

